



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年 4月 1日

企業・団体名 CAD Office Yamamoto 2級建築士事務所

代表者名 山本 典弘

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

- 1 取組み期間 令和6年4月1日（宣言日）～令和7年3月31日
- 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】住み続けられるまちづくり、高齢になって、動きが悪くなった場合でも、自分が過ごしてきた街に住み続けられる、自分の住んでいる住まいで住み続けられる、それが一番だと思います。また、震災などが起きた時、障害を持つものは人を頼らず、自ら避難できる方法を考えなければなりません。 安心・安全に暮らす、それを皆さんと考えていきたい、これが私の設計事務所の目標です</p> <p>【実施状況】高齢になった時、寝たきりになった時、自分の家に住み続けたいという気持ちはだれでも持つと思います。建築に携わるものとして、建築物の改修の相談に乗り、また、介護相談員として、機器等の改修などで動きやすくする相談に乗り、そのお手伝いをさせていただいています。 2022年私は自宅兼事務所を両松葉づえの障がい者ですが、自力で全面改装しました。 自分で経験して分かることもあります</p>
2	<p>【目標】性差別、障害による差別、偏見は私にもありました。しかし、人として接した時、ジェンダーや障がいによる偏見が、高齢者になった時、高齢者への偏見が亡くなりました。これからの社会、平等、働き甲斐のある時代を築かなければなりません。 いろいろな偏見のない社会、それをしっかり定着させる必要があります。 皆さんと一緒に成長する。私の目標です。</p> <p>【実施状況】性からくる差別、最近は無くなってきていますが、仕事の上で女性・男性の区別ない上位部署への進出、男性か女性かの偏見なく過ごせる職場、介護休暇の取得できる職場で無ければなりません。障がい者に対しても同じです。 家でのテレワークの推進、働くための知識、技能の取得等が必要な社会です。 地球温暖化防止活動推進員などを通して私も微力ながら頑張っていきたいと思っています。</p>
3	<p>【目標】建築、いろいろな物は作った時が、始まりです。作られた時が終わりではありません。品物は作られた時から廃棄される時まで二酸化炭素を発生させます。 。それを考えて、作られたものをいかに二酸化炭素の発生を抑えて、生産するか、それが、設計するもの生産する者の役目だと考えています。 この地球が生まれた時から二酸化炭素は存在します。必要量の二酸化炭素だけあればよいのです。海にごみを流さないように、陸の恵みを大切に。</p> <p>【実施状況】家・建物・生産物の成長は、その家に住もう人・使う人の成長でもあります。 生産物はそれを使う人の使い方の工夫で成長していきます。 作る責任、これは建築に携わる者の責任でもあり、使う人の責任でもあるのです。 また、住もう責任は、設計・施工するものと、住もう人たちが最初の基本設計を始めた時から一緒に始まるのです。そして、その家や品物を使っていく中での改造、改修も使用する者、住もう使う側の方たちによって、それらが成長していくのです。</p>

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。